

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2606回★ 旧福知山線廃線跡 から大峰山往復	10月3日(日) AM 8:30 阪急電車 烏丸駅 西改札口前 (四条烏丸交差点下; 地下鉄側) 集合 各自で宝塚迄乗車券購入	岡田 茂久	阪急烏丸駅—阪急宝塚駅— JR宝塚駅—JR生瀬駅…旧福 知山線廃線跡トンネル(武庫川 溪谷)…桜ノ園…大峰山552m 往復…JR武田尾駅—JR宝塚 駅—阪急宝塚駅
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 都合により、当例会を8月8日から日程変更しました。 真暗のトンネルを潜り、武庫川溪谷沿いにスタンドバイミーの世界を体感します。 ヘッドライトは必ず携帯してください。 時間があれば武田尾温泉に入浴します。 前日19:00の天気予報で降水確率60%以上の場合は中止します。 参加希望者は担当者へ連絡してください。(地図は担当者が用意します。) 		
第2607回★ 西暦の山 「赤薙山」2,010.3m	10月8日(金) ～11日(月) 8日 AM 7:30 竹田駅西口集合	吉田 武	
	<p>8日 竹田駅西口—京都東IC—名神高速—中央道—長野道—上信越道—関越道— R120—奥鬼怒林道—川俣温泉—オロオソロシの滝見学—川俣温泉 川俣温泉「黄金の湯」泊まり</p> <p>9日 川俣温泉—奥鬼怒林道川治線—県道青柳日光線—霧降高原道路— 霧降高原スキー場—駐車…赤薙山往復—霧降高原スキー場—霧降温泉 霧降温泉 大江戸温泉物語「日光霧降」泊まり</p> <p>10日 霧降温泉—日光東照宮付近散策—老神温泉 老神温泉「秘湯の湯 仙郷」泊まり</p> <p>11日 老神温泉—R120—沼田IC—藤岡JCT—上信越道—長野道—中央道—名神高速— 京都東IC</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> やど 川俣温泉「黄金の湯」 日光市川俣591 TEL 0288-96-0246 大江戸温泉物語「日光霧降」 日光市所野1535-1 TEL 0288-50-1212 老神温泉「秘湯の湯 仙郷」 群馬県片品村老神温泉 TEL 0278-56-2601 費用 50,000円 装備 日帰り登山装備、嗜好品 参加希望者は9月13日(月)集会までに担当者へ必ず連絡してください。 		

第2608回★ 那岐山 1,250m	10月16日(土) AM 7:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	竹田駅西口—中国道津山IC —R53—高円—蛇淵ノ滝… 那岐山…往路下山—京都
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・後山から那岐山に行先変更しました。 ・帰路, 温泉入浴予定です。 ・参加希望者は担当者へ連絡してください。 		
第2609回★ 清滝川自然観察会 [地質] 清滝川の自然と 歴史を探る	10月17日(日) AM 9:30 JR「保津峡」駅前集合 雨天の場合 24日(日)に延期	岡田 茂久 方山 宗子	JR保津峡駅前…落合…清滝… 高雄(神護寺)…榎尾(西明寺)… 梅尾(高山寺)…JRバス梅尾 停留所 解散16:00頃
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・清滝川は保津川の支流で、地質学的には丹波層群と呼ばれる2億年ほど昔の硬い堆積岩で出来ています。保津川との合流点が落合で、浸食力の差により川底に差があります。落合～清滝は金鈴峡、清滝～高雄は錦雲溪と呼ばれ、新緑や紅紫の名所として有名です。高雄には神護寺、榎尾には西明寺、梅尾には高山寺があり、あわせて「三尾」と称しますが、いずれも高い河岸段丘の上にあります。 ・指 導 員 (社)日本山岳協会自然保護指導員 杉村忠重(歴史), 山中 博(地質) ・携行品等 昼食, 水筒, 軍手, 雨具, 非常食, 運動靴または登山靴, 帽子, (ストック) ・費 用 1人1,000円(資料代, 拝観料, 保険代)[小・中学生は600円] 往復のキップは各自でお買い求めください。 JR 京都～保津峡: 230円, JR バス梅尾～京都: 500円 ・地 図 京都一周トレイルコース公式ガイドマップ「北山西部」(500円) ・参加希望者は9月29日(水)までに担当者へ必ず連絡してください。 		
第2610回★ 木曾付知周辺の山旅 二ツ森山 1,223m 高時山 1,086m 高時山 1,563m	11月6日(土) ～7日(日) 6日 AM 7:30 烏丸五条交差点 東北角集合	岡田 茂久	(マイカー山行です。)
	6日 京都東IC—恵那IC—蛭川—林道—フォレストパーク…二ツ森山(1,223m) 往復—林道—かかりき峠…高時山(1,086m) 往復—温泉ホテル泊 7日 温泉ホテル—加子母—木曾越峠…高時山(1,563m) 往復—加子母—倉屋温泉入浴—恵那IC—京都東IC		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・二ツ森山, 2つの高時山とも紅葉真っ盛りで、御嶽, 中央アルプスの好展望が期待されます。 ・地図は担当者が用意します。 ・何れの山も峠から往復1時間～1時間半程度です。 ・宿泊は, リーズナブルな「湯快リゾート」を利用します。 ・参加希望者は宿泊申込関連で, 10月20日(水)までに担当者へ必ず連絡してください。 		

今月の集会

日時 10月12日(火) 18:30～
場所 holly's café (ホリーズ カフェ)

企画運営委員会

日時 10月20日(水) 18:30～
場所 holly's café (ホリーズ カフェ)



「夏ってこんなに暑かっただろうか…」毎年ぼやいているが、今年の夏は今までに無く気温が高く、平均気温も30℃を記録しているようである。また局地的な集中豪雨があったものの、降水がほとんどなかったので気温が下がりにくく、暑さで死滅してしまう昆虫も少なくなかったようである。これらの要因で幼虫時点で死滅してしまうため、やぶ蚊の発生が極めて少なく、その点だけは助かったのかもしれない。

最近はおっぱらキャンプに出かける機会が多いが、こう暑くては夏のキャンプも苦行以外の何者でもない。快適サマーキャンプを求めるならば標高を上げれば上げるほどいいのではないかと、この思いから『うるぎ星の森オートキャンプ場』を訪れてみた。長野県にあるキャンプ場で、標高はなんと1200mもある。「標高100m毎に0.6℃気温がさがる」の山の常識から計算すると、たとえ30℃を超える真夏日であっても、キャンプ場では22℃程度となる。実際、夕方になれば長袖が必要なほど涼しいというより、寒い。焚き火の温もりがありがたく感じるほどである。少し前、何度も山に出向いていた頃、真夏なのに槍や穂高などの高山で過ごす夜にフリースが欠かせない、あのピリッとした感覚が恋しくてしかたがない。

部員が減るばかりの我が山岳部に何年かぶりの新入部員が現れたのは、既にご存知だと思うが、風のうわさによると、それに続く候補者がまだまだ潜んでいるとのこと。にわかには期待が膨らむが、焦らず、まずは歓迎する意をこめて、共に山に出向きたいものである。

(2010. 9. 22 by MatsuKen)



【第2604回例会報告】

「高尾 毘沙門沢」

OB 吉田 武

7月末の奥大日岳例会に行ってから、山行で奥秩父山系の笛吹川「ヌク沢」に沢登りに行くつもりであったが、参加者が少なく日程を変更して9月11日に右京区高尾の「毘沙門沢」に行くことにしました。地下鉄太秦天神川駅のロータリーで待ち合わせて8時に出発、梅ノ尾市営駐車場に車を置き、R162を歩いて夫婦橋をこえて毘沙門橋バス停車前から空き地に入り身支度をして入谷、最初に出てくる滝が5m位で少し難しく、今回初心者もおられるのでロープで確保しながら通過。以前(2007年)に登ったときよりも凄く谷が荒れて倒木が多く谷の形相が少し変わったようだ。小さな滝をいくつも越えてメインの15m滝の手前にある7mの滝は、水芯の右岸を登るのがルートで、確保をお願いしてクリアする。登りきったところで15mの滝で今日はトップロープを使って沢登りの練習をする。中央チムニールートと水芯の右岸ルートを交互に登る、一昨日の雨で少し水量が多く、適当にシャワークライミングをしながら楽しく練習をした。昼前になったのでこの先15m位の2段滝に向かった。右岸から1段目を登り、滝芯をシャワークライミングしながらトラバースで通過して左岸から落口に登り今日の沢登りは終了した。林道まで登り、昼食をして下山をした。谷に沿った林道をR162に出て駐車場まで行き途中で反省会をして解散した。

【参加者】大槻雅弘、岡本義弘、吉田 武、他3名

【第2605回例会報告】

台高の山脈 迷岳 (二等△1,309.1m)

井戸 澄夫

昨年の6月に池小屋山に登ったが、迷岳は池小屋山から東に延びる尾根上にあり、標高もほぼ同じである。昨年が続いて伊勢道・大宮大台ICから入るのが、最も早くて便利である。日帰りでも十分行けるのであるが、ゆっくり登ろうということで金曜の夜に出発した。途中、土山SAで食料調達するつもりがうっかり通り過ぎてしまった。宿泊は昨年と同じく、奥伊勢PAで芝生にテントを張ったが、去年と違い利用者が多く、バイクやトラックの騒音に悩まされた。どうも高速道路が延長されたようで、そのため交通量が増えたようである。今年は記録的な猛暑で9月に入っても35℃を超える日が続いており、夜になってもテントの中はシラフ無しでも暑くてたまらない。渡辺氏はたまたまテントから出て露天で寝ていたが、結構、涼しかったようである。ただこの暑さにも拘わらず蚊やハエがほとんどいないのが不思議なことであった。外で寝た渡辺氏も蚊にまったく刺されなかったとのことである。家に帰ってから調べたら、その理由が分かった。暑いだけで降水量がすくなく、蚊の卵が干上がりボウフラが発生しないという。山の上では気温も下がり湿り気もあったので、結構、蚊やハ

エが纏わりついてきた。

朝食・昼食は大宮大台 IC を出て、コンビニ（サークル K）で調達した。R422を大杉谷方向に走り、雲母からヤチ山谷林道に入り高度をかせぐ。林道は途中で地道になるが整備は良好である。尾根に当たったところが終点で5台ほどの駐車場があり、標高で900mほどである。ここから標識に従いしばらく平坦な道を歩き、右手の急斜面を登ると1,194mのピークに着く。ここからが尾根歩きになる。ブナ林の中の山道であり、渡る風は涼しく秋を感じさせる。しばらく行くと口迷岳（1,224m）に至る。南側の展望がよく、大杉谷を隔てた大台ヶ原から延びる山並みがよく見える。大阪の泉南から来たおじさんが愛犬を連れて登ってきた。写真を取り合って別れた。一旦、桃の木平（1,180m）に下ってから頂上への登りにかかる。山稜は二重山稜になっており迷いやすい。これが山名の由来のようである。テープを確かめながら登っていったが、頂上が見えるところまで来て迷ってしまった。テープをよく見ればよいのに、山頂を無理やり直登してしまい、よけいに時間がかかってしまった。山頂では先の犬連れおじさんがどうしたんやという顔で待っていた。案内書にも北側の細い尾根を行けと書いてある。我々は南側の急斜面をよじ登ってきた、情けない。山頂では展望はないがブナやヒメシヤラの樹林が快適な木陰を造り、落ち着いた雰囲気である。下界は猛暑、山上はすでに秋という感じである。昼食をとり暫時昼寝した。下りは道に迷わないように注意した。

帰路、奥伊勢フォレストピアにある宮川温泉で汗を流した。第2名神の土山 SA で食べたかき氷が胃の腑にしみた。京都東 IC での高速料金は1,050円であった。

【参加者】 堀田 剛, 渡辺智生, 井戸澄夫

【コースタイム】 2010年9月3日(金)～4日(土)

9/3 21:00竹田駅西口→(第2名神, 伊勢道)→23:30奥伊勢 PA (仮眠)

9/4 6:30起床→大宮大杉 IC→コンビニ(朝食)7:30→(R422, 雲母, ヤチ山谷林道)→9:00登山口駐車場…10:20口迷岳…11:50迷岳山頂(二等 1,309.1m)(昼食)12:20…14:10登山口駐車場→15:00奥伊勢フォレストピア(入浴)16:00→(R422, 大宮大台 IC, 伊勢道)→17:20土山 SA(休憩)→18:30京都東 IC→御陵→東山

例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2605	台高 迷岳	9月3日 ～4日	晴	井戸 澄夫	堀田 剛	(別稿詳報)
2604	奥秩父 笛吹川 「ヌク沢左俣」	9月10日 ～12日	晴	吉田 武	大槻 雅弘 岡本 義弘 他 3名	(別稿詳報) 9月11日 高尾 毘沙門谷に変更 しました。

雑 報

△△△ 9月の集会

日 時 9月13日(月) 18:30～

場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)

出席者 井戸, 大槻, 岡田, 坂井, 三橋, 森本, 吉田, 渡辺, 和田, 清水

以上10名

内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 8月の企画運営委員会

日 時 8月19日(木) 18:30～

場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)

出席者 井戸, 方山, 吉田, 清水 以上4名

内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

8月号 青嶺

9月号 一等三角点, 北山, 趣味の登山, 青嶺, 比良山岳, 木雞, わっぱ

10月号 わっぱ

かもしか 2005～2009 敦賀山の会

△△△ 平成22年度部費徴収のお知らせ

平成22年度の部費を徴収します。年額6,000円(郵送の方は7,500円)です。企画委員か会計担当(堀田)までお届け下さい。

△△△ 平成22年度部費受領者について

9月15日現在, 前号までに掲載しました部費受領者に加えて, 次の方々から平成22年度会費を受領しましたので報告します。

(敬称略) 足立公弘, 石川かず榮, 井上一夫, 大杉雅晴, 大野滋久, 岡本 孝,
角田敏昭, 河村 清, 小森 浩, 清水 明, 中山忠之, 松浦健一,
山口雅直, 山下周道, 山下幸宏

△△△ おわびと訂正

'10 9月号 No.695の部報に次のような誤りがありましたので, おわびと訂正します。

P6 下から17行目 誤:[澤田佳三] 正:[澤井佳三]

△△△ 部報の製本について

2003年4月号～2010年3月号の製本を行いますので, 希望者は担当者 吉田
まで連絡し, 今回製本に該当する分の部報を担当者に預けてください。

△△△ 岳連からのお知らせ

岩登り講習会について

- 対 象 者 岩登りを始めてみたいが、最初どんなことから始めたらいいのか分からない方、また、もっときっちりした技術を習ってみたいと思われる初心者の方を対象に実施します。
- 日 時 10月24日（日）
- 場 所 鈴鹿 藤内壁 砦岩他
- 集 合 藤内小屋前 AM8:00（交通の便がない方は、早めに担当まで連絡下さい。）
- 講習内容 クラックルート他の登り方
- 講 師 連盟所属の指導員他にお願いします。
- 募集人員 15名
- 参加費用 2,500円（指導員2,000円：講習費・資料代他）
※他に参加人員で分担する交通費が必要です。
- 装 備 ハーネス、ヘルメット、岩登り専用靴、カラビナ、エイト環、確保器、シュリング、手袋他
- 参加資格 連盟加盟団体員（一般の方も参加可能）他の方で、日山協山岳共済（山岳登攀コース）、または同等以上の保険に加入している方
- そ の 他 講習中の事故については、応急処置は施しますが、それ以上の責任は持ちません。
- 申し込み 10月14日（木）までに清水 へ連絡してください。
京都府山岳連盟事務局宛に申し込みます。
そのとき、無積雪期及び積雪期の登山経験年数及び日山協山岳保険（登攀コース）加入またはその他の保険加入の有無も教えてください。

